

平成 31 年度

試 験 曲

音楽学部個別学力検査等

＜一般入試＞

＜推薦入試＞



沖縄県立芸術大学

目 次

音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー	1
募集人員	2
I 一般入試	
1 試験科目一覧	3
2 出願方法	3
3 併願について	4
4 試験内容及び試験曲等	
《専攻試験》	
(1) 音楽表現専攻声楽コース	5
(2) 音楽表現専攻ピアノコース	6
(3) 音楽表現専攻弦楽コース	7
(4) 音楽表現専攻管打楽コース	9
(5) 音楽表現専攻作曲理論コース	13
(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース	13
(7) 音楽文化専攻音楽学コース	13
(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース	14
(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース	14
(10) 社会人入試（琉球芸能専攻）	14
《音楽に関する基礎能力検査》	
(1) 楽典	15
(2) 聴音	15
(3) 新曲視唱	15
(4) 副科ピアノ	15
(5) 初見視奏	15
(6) 音楽又は舞踊の実技	15
(7) 初見視唱	16
5 平成 31 年度個別学力検査等日程表	16
II 推薦入試	
1 試験科目一覧	17
2 出願方法	17
3 試験内容及び試験曲等	
《専攻試験》	
(1) 音楽表現専攻声楽コース	18
(2) 音楽表現専攻ピアノコース	18
(3) 音楽表現専攻弦楽コース	18
(4) 音楽表現専攻管打楽コース	18
(5) 音楽表現専攻作曲理論コース	19
(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース	19
(7) 音楽文化専攻音楽学コース	19
(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース	19
(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース	19
《音楽に関する基礎能力検査》	
(1) 楽典	20
(2) 聴音	20
(3) 新曲視唱	20
(4) 副科ピアノ	20
(5) 音楽又は舞踊の実技	20
(6) 初見視唱	20
4 平成 31 年度推薦入試日程表	20
III 入験問題例	21

音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄の地で育まれた個性の美である伝統芸能はもとより、西洋・東洋にわたる芸術音楽を体系的に研究教授し、将来、実演家、教育者、研究者をはじめとして、音楽芸術分野において社会に貢献できる人材の養成をめざします。

豊かな表現力と高い技術力、そして理論的思考力を涵養し、それらを総合して現代社会に新たな価値をもたらすことのできる人材を育成します。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下に掲げる学修成果を修め、最終学年における卒業演奏又は卒業作品、卒業論文、卒業研究の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 音楽・芸能の各分野における専門的な知識と実演、創作等の技能を修得していること。
- 2 大学の学修で養った汎用的基礎能力を活かし、主体的に研究を継続し、それらを社会に発信できる能力を備えていること。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

音楽学部では、沖縄の地で育まれた伝統芸能とともに、世界の芸術音楽を体系的に教授し、将来、実演家・教育者・研究者ならびに広く音楽芸術分野に貢献できる人材の育成をめざします。

上記の人材を育成することを目標として、大学カリキュラム・ポリシーを基本に次のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 少人数による教育
- 2 専門教育の4年間にわたる段階的履修
- 3 専門分野の実技と理論における体系的・横断的な授業科目の編成
- 4 全学教育科目における芸術諸分野及び教養に関する教育
- 5 地域社会との連携を図り社会との関係を学ぶ科目の提供
- 6 学生の多様な関心に対応し学習できる選択科目の設定

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で学習目標の達成度を基準に、演奏・演舞・作品・実践・レポート・筆記試験等により行います。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学及び学部の教育理念に基づき、音楽学部では、専門分野における基礎的な知識・技術に加え、大学の学修に必要な基礎的学力と広い視野を備え、将来、伝統芸能の継承発展と新たな芸術創造に寄与できる人材を求めています。

【求める人材】

- 1 大学での学修に対する熱意をもち、音楽家、実演家、研究者又は教育者として活躍したい人
- 2 基礎的知識を基に音楽に対する視野を広げ、現代社会との関わりを意識している人
- 3 沖縄に関心があり、現代社会に向けて芸術創造の営みを発信する意欲ある人

【選抜試験の実施】

- 1 一般入試では、大学入試センター試験で国語及び外国語を受験科目を課するとともに、個別学力検査等では、専攻試験（実技検査、小論文等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、副科ピアノ等）を実施しています。
- 2 推薦入試では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、視唱、副科ピアノ等）、および面接を課しています。
- 3 社会人入試では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）を課しています。

いずれの入試においても、学部及び専攻・コースのアドミッション・ポリシーを基に実施し、総合点に基づき合格者の選抜を行います。

募集人員

学 部	学 科	専 攻	コ ー ス	定員	募集人員				
					一般入試		推薦入試		社会人 入 試
					前期 日程	後期 日程	県内 枠	全国 枠	
音楽学部	音楽学科	音楽表現	声 楽	23	17	0	3	3	0
			ピ ア ノ						
			弦 楽						
			管 打 楽						
			作 曲 理 論						
		音楽文化	沖 縄 文 化	7	4	0	2	1	0
			音 楽 学						
		琉球芸能	琉球古典音楽	10	5	0	4	1	若干名
			琉球舞踊組踊						
		計			40	26	0	9	5

注 1. 推薦入試の手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加える。

注 2. 推薦入試の県内、全国それぞれの枠で定員に満たなかった人員は他方の枠に算入することがある。

注 3. 社会人入試の募集人員は、一般入試の前期日程の募集人員に含む。

<一般入試>

I 一般入試

1 試験科目一覧

試験科目 専攻・ コース名		専 攻 試 験 (第1次試験)				音楽に関する基礎能力検査 (第2次試験)						
		実技 検査	コー ルユー ブ・ソ ン ゲン	初見 演技	小論文	楽典 (注3)	聴音	新曲 視唱	副 科 ピアノ	初見 視奏	音楽又 は舞踊 の実技	初見 視唱
音楽 表現	声 楽	◎	◎			◎	○	○	◎			
	ピアノ	◎				◎	◎			◎		
	弦 楽	◎				◎	○	○	◎			
	管打楽	◎				◎	○	○	◎			
	作曲理論	◎ (口述試験含む)				◎	◎		◎			
音楽 文化	沖縄文化				◎ (口述試験含む)	◎					◎	
	音楽学				◎ (口述試験含む)	◎	○	○	◎			
琉球 芸能	琉球古典音楽	◎ (調弦含む)			※ (口述試験含む)	◎						
	琉球舞踊組踊	◎		◎	※ (口述試験含む)	○						○

注1. ◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目。○印は、出願時に、いずれか1つの科目を選択する。※印は社会人入試のみ（但し音楽に関する基礎能力検査は受験しない）

注2. 各専攻の個別学力検査等（実技検査を含む）については、第1次試験と第2次試験に分けて実施するが、第2次試験については、第1次試験合格者についてのみ実施する。

注3. 沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、他専攻の楽典とは別問題とする。

2 出願方法

(1) 声楽コース志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。

ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(2) 弦楽および管打楽コース志願者は、次の楽器の中から1種類を選択し、出願すること。

（弦 楽 器）ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

（管打楽器）フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット

テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器

(3) 琉球古典音楽コース志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。

歌三線、琉球箏曲

(4) 弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者は、第2志望としてヴィオラを受験することができる。その場合には、第1志望の試験科目の他に第2志望の実技検査を受検しなければならない。

3 併願について

音楽学部への出願は、志願する専攻・コース（声種・楽器）を1つに限るが、以下の表に示す限りにおいては併願が可能である。

【併願可能な専攻・コース】

第2志望		音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
		声 楽	ピアノ	弦 楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球 古典音楽	琉球 舞踊組踊
音楽表現	声 楽					○	○	○		
	ピアノ	○				○	○	○		
	弦 楽					○	○	○		
	管打楽					○	○	○		
	作曲理論	○					○	○		
音楽文化	沖縄文化							○	○	○
	音楽学	○					○			
琉球芸能	琉球古典音楽						○			○
	琉球舞踊組踊						○		○	

注：併願の場合には、第1志望の試験科目（専攻試験、音楽に関する基礎能力検査）に加えて、第2志望の専攻試験を受験しなければならない。

ただし、

- ①音楽学コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では音楽学コースの科目を受験すること。
- ②音楽表現専攻の各コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では、受験する音楽表現専攻各コースの試験科目を受験すること。
- ③琉球芸能専攻の各コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では、「楽典」を受験すること。
- ④第2志望で作曲理論コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では作曲理論コースの試験科目を受験すること。（ピアノコースを除く）
- ⑤第2志望で琉球古典音楽コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では琉球古典音楽コースの試験科目を受験すること。

4 試験内容および試験曲等

《専攻試験》

(1) 音楽表現専攻声楽コース

注意事項：課題曲、自由曲とも暗譜で歌うこと。歌詞は原語で歌うこと（ただし、曲によっては通例歌われている他の外国語で歌うことも可）。

伴奏者は本学で用意する。ただし、事前の伴奏合わせはない。

時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

<課題曲>

下記の課題曲 17 曲から任意の 3 曲を選択し、入学願書に記入すること。

提出した 3 曲の中から試験当日、受験者本人のくじ引きにより 1 曲を歌う。

<自由曲>

課題曲以外の任意の曲、ただし 5 分以内とする。歌詞は原語で歌うこと。

<コールユーブンゲン>

F.Wüllner : Chorübungen No.30 より、No.71 までの中から、当日 1 曲を指定する。

移動ド、固定ド、のどちらで歌ってもよい。

課 題 曲

①	M.A.Cesti	Intorno all'idol mio	(c-moll, d-moll, e-moll, f-moll)
②	G.B.Pergolesi	Se tu m'ami	(es-moll, f-moll, g-moll)
③	A.Scarlatti	Se tu della mia morte	(e-moll, g-moll, f-moll)
④	A.Scarlatti	Già il sole dal Gange	(G-dur, As-dur, B-dur)
⑤	A.Scarlatti	Le violette	(F-dur, G-dur, B-dur, H-dur)
⑥	A.Scarlatti	Sento nel core	(d-moll, es-moll, f-moll, g-moll)
⑦	F.Gasparini	Lasciar d'amarti	(d-moll, f-moll, g-moll)
⑧	F.Durante	Vergin, tutto amor	(h-moll, c-moll, d-moll)
⑨	W.A.Mozart	Das Veilchen	(E-dur, G-dur)
⑩	F.Schubert	An die Musik	(B-dur, C-dur, D-dur)
⑪	F.Schubert	Frühlingsglaube	(F-dur, G-dur, As-dur)
⑫	R.Schumann	Die Lotosblume	(Des-dur, Es-dur, F-dur)
⑬	弘田龍太郎	浜千鳥	(C-dur, Es-dur)
⑭	瀧廉太郎	荒城の月	(c-moll, d-moll)
⑮	山田耕筰	かやの木山	(C-dur, D-dur)
⑯	平井康三郎	ゆりかご	(E-dur)
⑰	信時潔	北秋の	(Des-dur, D-dur)

* () 内の調は、本学が用意する伴奏用楽譜の調である。他の調で歌う場合は、希望の調の伴奏用楽譜を願書とともに提出すること。

*イタリア歌曲は外国版を使用する時は、伴奏用楽譜を提出すること。

(2) 音楽表現専攻ピアノコース

注意事項：課題曲は A,B,C の順に演奏し、すべて暗譜で演奏すること。

繰り返しは省略する。時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

下記の課題曲 A,B,C についてそれぞれ任意の曲を 1 曲選択し、入学願書に記入して届け出ること。

< 課題曲 A >

J.S.Bach：平均律クラヴィア曲集第 1 巻または第 2 巻より任意の 1 曲
(プレリュードとフーガ)

< 課題曲 B >

F.Chopin または F.Liszt：練習曲より任意の 1 曲

< 課題曲 C >

L.v.Beethoven：ピアノ・ソナタ（Op.2-1～Op.90）より任意の第 1 楽章
(Op.27-1,Op.27-2,Op.49-1,Op.49-2,Op.79 の 5 曲を除く)

(3) 音楽表現専攻弦楽コース

注意事項：すべて暗譜、無伴奏で演奏すること。記号による反復は行わない。
試験曲のうち、指定した版のある曲以外は、どの版を使用しても良い。
時間の都合により演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

◆ヴァイオリン

<音階>

Carl Flesch : Scale system より任意の調一つを選択。

5 番（3 オクターヴの音階 Tempo は♩=80~100）全部。

6 番（3 度の音階 Tempo は自由）冒頭 4 小節。

7 番（6 度の音階 Tempo は自由）冒頭 4 小節。

8 番（8 度の音階 Tempo は自由）冒頭 4 小節。

*フィンガリングは自由。

*スラー、リズムは C-dur に準じること。ただし重音のスラーは
一拍ずつのスラーで演奏すること。

<課題曲 A>

以下の練習曲、または、これらと同等程度以上の練習曲から任意の 1 曲を選択。

R.Kreutzer : 42 Etudes (Peters 版)

*No.1,3,5 を除く。リズムやスラーはオリジナルに準じること。

P.Rode : 24 Caprices

J.Dont : 24 Etudes and Caprices Op.35

<課題曲 B>

任意の協奏曲より第 1 楽章または最終楽章（カデンツァは除く。ただし、作曲者が曲中に著したもののについては演奏すること）。

注. ヴァイオリンを第 1 志望とする志願者はヴィオラを第 2 志望とすることができる。

その場合、第 2 志望の実技試験も受験しなければならない。ヴィオラ試験として第 1 志望と同じ
「音階」、「課題曲 A」、「課題曲 B」をヴァイオリンで演奏すること。

◆ヴィオラ

<音階>

C-dur の音階。Tempo は♩=80 以上

フィンガリングは自由。ただしボーイングは譜例に従うこと。



<課題曲 A>

R.Kreutzer : 42 Etudes より任意の 1 曲（但しヴィオラ用の編曲）を選択。

<課題曲 B>

任意のヴィオラ協奏曲より第 1 楽章（カデンツァを除く）

◆チェロ

<課題曲 A>

Sebastian Lee : Melodische und progressive Etüden Opus31 (SCHOTT 版)

40 MELODIC STUDIES Opus31 (INTERNATIONAL 版)

より任意の 1 曲を選択。

<課題曲 B>

任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章（カデンツァを除く）

◆コントラバス

<課題曲 A>

F.Simandl : 30 Etudes より任意の 1 曲を選択。

<課題曲 B>

任意のコントラバス協奏曲より第 1 楽章（カデンツァを除く）

(4) 音楽表現専攻管打楽コース

注意事項：無伴奏で演奏すること。暗譜でなくてもよい。

時間の都合により演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

【木管楽器】

◆フルート

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① E.Koehler : 35 Exercises op.33 第2巻 (12 Medium Difficult Exercises) より No. 1, 5, 6, 8, 10, 12
の中から 1 曲を当日指定する。(Carl Fischer 版)
- ② W.A.Mozart : Concerto in D major K314 より 第 1 楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

◆オーボエ

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① F.W.Ferling : 48 Etudes op.31 より No.1~No.6 の中から 1 曲を当日指定する。(版は自由)
- ② J.Haydn : Concerto in C major Hob.VIIg:C1 より 第 1 楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

◆クラリネット

<音階>

R.Eichler : Scales for Clarinet 全長調の 1 番の中から演奏する。

調、アーティキュレーションは当日指定する。

(国立音楽大学教育出版部)

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Rose : 32 Etudes より No.5~No.12 の中から 1 曲を当日指定する。(Leduc 版)
- ② C.M.v.Weber : Concertino für Klarinette und Orchester Es-dur Op.26 J.109
(Breitkopf & Härtel 版)

◆ファゴット

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① J.Weissenborn : Studies for Bassoon op.8 vol.2 より No.4,6,8,10,13,14 の中から 1 曲を当日指定する。(版は自由、繰り返しなし)
- ② A.L.Vivaldi : Concerto in a minor F8/7 RV497 より 第 1 楽章 (Ricordi 版)

【金管楽器】

(共通課題)

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調、アーティキュレーションは当日指定する。

譜例



◆ホルン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.3,6,9,13,15 の中から 1 曲を当日指定する。
(Carl Fischer 版、繰り返しなし)
- ② W.A.Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.3 Es-dur KV 447 より 第 1 楽章
(カデンツァを除く、Breitkopf&Härtel 版)

◆トランペット

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.8,10,12,15,19 の中から 1 曲を当日指定する。
(Carl Fischer 版、繰り返しなし)
- ③ G.F.Händel : Aria con Variazioni (Transcribed by Bernard Fitzgerald 版、繰り返しなし)

◆テナートロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.5,6,7,8,9 の中から 1 曲を当日指定する。(版は自由、繰り返しなし)
- ② A.Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (版は自由)

◆バストロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.6,7,8,9 の中から 1 曲を当日指定する。
(1 オクターヴ下げて演奏する、版は自由、繰り返しなし)
- ② A.Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (Reift 版)
※テナー用の原曲を完全 4 度低く移調したバス・トロンボーン用の編曲で演奏すること。

◆チューバ

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies より No.3,10,14,15,19,20 の中から 1 曲を当日指定する。
(Robert King 版、繰り返しなし)
- ② J.S.Bach : Air and Bourrée (W.J.Bell 編曲 Carl Fischer 版)
※使用楽器は、B♭、C、F 管のいずれかとする。

◆打楽器

打楽器 (A)、打楽器 (B) のどちらかを選択し入学願書に記入して届け出ること。

打楽器（B）で受験する者は課題曲②の記号と曲名を入学願書に記入すること。

打楽器（A） 小太鼓

<音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調は当日指定する。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、五つ打ち、七つ打ち、九つ打ちの中から当日指定する。

奏法は任意とする。（小太鼓を使用して演奏、響き線無し）

<課題曲> 次の①、②を演奏する。

- ① W.F.Ludwig : Collection Drum Solos より 18～19 ページの中から数曲を当日指定する。
(Ludwig Music Publishing 版)
- ② A.J.Cirone : Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare drum より No.3,13,19,31 の中から数曲
を当日指定する。(YMM 版)

打楽器（B） マリンバ

<音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。調は当日指定する。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、五つ打ち、九つ打ちの中から当日指定する。

奏法は任意とする。（小太鼓を使用して演奏、響き線無し）

<課題曲> 次の①、②を演奏する。

- ① M.Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone 39 Etudes より V、
XII、XV、XX から 1 曲を当日指定する。(Chappell & Co 版)
- ② J.S.Bach : Sonaten und Partiten für Violine Solo BWV1001-1006
イ、ロ、ハの中から任意の 1 曲を選択して演奏する。(版は自由)
イ : Sonata I より Fuga Allegro
ロ : Partita I より Tempo di Bourree
ハ : Partita III より Preludio

(5) 音楽表現専攻作曲理論コース

<作曲実技>

和声課題の実施（所要時間2時間）。ソプラノ課題およびバス課題を四声体で実施する。

<口述試験>

実技試験で実施した和声課題に関する質疑を含め、音楽への意欲などを問う。
これまでの作曲作品の楽譜、演奏された録音媒体などを持参し、質疑等を行う。

(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース

<小論文>

次の課題図書に基づいて音楽に関わるテーマを出題し、論述を求める。(90分)

野村誠『音楽の未来を作曲する』（晶文社）

※課題図書は当日必ず持参すること。

<口述試験>

小論文の内容及び課題図書に関する質疑等を行う。

※課題図書は当日必ず持参すること。

(7) 音楽文化専攻音楽学コース

<小論文>

次の課題図書に基づいて音楽に関わるテーマを出題し、論述を求める。(90分)

野村誠『音楽の未来を作曲する』（晶文社）

※課題図書は当日必ず持参すること。

<口述試験>

小論文の内容及び課題図書に関する質疑等を行う。

※課題図書は当日必ず持参すること。

(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース

注意事項：課題曲、自由曲ともに暗譜で演奏すること。

◆歌三線

<調弦>

調子笛の音高に合わせて調弦すること。

<課題曲>

かぎやで風節、上り口説（１、２、３、８番）、秋の踊【道輪口説】（１、２、３、４番）

※上記３曲の中から１曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<自由曲>

二揚調子の古典曲または二揚調子の古典民謡から任意の曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

◆琉球箏曲

<調弦>

あらかじめ調弦された巾、為、斗、十、九の音高をもとに本調子の調弦をすること。

<課題曲>

瀧落萱攪

<自由曲>

歌物の中から任意の１曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース

<課題曲>

かぎやで風、かせかけ

※上記２曲の中から１曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<自由曲>

琉球舞踊又は八重山古典舞踊の中から任意の１曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

なお、地謡用音源は<課題曲><自由曲>ともにＣＤ等の録音媒体を出願書類と一緒に提出すること。再生用機器等は大学側が準備する。

<初見演技>

試験当日に例示する古典女踊の基本的所作を模倣して実演する。

(10) 社会人入試（琉球芸能専攻）

<実技検査>

試験曲は一般入試と同様とする。

<小論文>

課題は試験当日に出題する。（90分）

<口述試験>

小論文についての口頭試問を行う。

《音楽に関する基礎能力検査》

(1) 楽典

筆記試験・・・音楽表現専攻、音楽学コース(30分)、沖縄文化コース、琉球芸能専攻(40分)

(2) 聴音

単旋律および四声体和声の聴音。

(3) 新曲視唱

単旋律の視唱。予見時間は1分30秒。

(4) 副科ピアノ

注意事項：暗譜で演奏すること。記号による反復は行わない。

時間の都合により演奏の中断を求めることがある。

下記の課題曲①～③の中から1曲を選択し、入学願書に記入して届けること。

音階および課題曲を演奏すること。

<音階>

ハノン教則本第39番より井号記号3つまでの長調または短調の音階から試験当日に指定された調を演奏する。Tempo ♩=80以上

長調は繰り返しなしで、カデンツをつけて終わる。

短調は和声的短音階を1回弾いた後、カデンツをつけずに続けて旋律的短音階を1回弾き、カデンツをつけて終わる。

<課題曲>

① J.S.バッハ：インヴェンションまたはシンフォニアより任意の1曲

② ハイドン、モーツァルトまたはベートーヴェン：ピアノソナタより任意の1つの楽章。

(ベートーヴェンを選択する場合はOp.101～111は除く)。ただし緩徐楽章は除く。

③ ツェルニー：30、40、50番練習曲より任意の1曲

(5) 初見視奏

簡易な曲の視奏。試験室入室前に4分程度の予見時間がある。

(6) 音楽又は舞踊の実技

音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

演奏時間は3分～5分程度とし、全体の持ち時間は準備も含めて6分以内とする。

(注意事項)

演奏は伴奏なしとする。

本学でピアノ、打楽器、マリンバは用意するが、それ以外の楽器は持参すること。ただし、コントラバスは本学で準備したものを使用してもよい。

舞踊に用いる録音媒体(CD等)は事前に再生について確認をした上で出願時に提出すること。

演舞可能なスペースは、4m(幅) × 4m(奥行き) × 2.5m(床から天井までの高さ)程度である。特別な演出等がある場合は事前に相談すること。

(7) 初見視唱

試験当日に提示する台本の唱え（組踊「執心鐘入」から抜粋）。

5 平成 31 年度一般入試個別学力検査等日程表

専攻・ コース 日程	音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
	声楽	ピアノ	弦楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球 古典音楽	琉球 舞踊組踊
平成 31 年 2 月 25 日 (月)	課題曲 自由曲 コルユープンゲン			音階 課題曲	作曲実技	小論文	小論文		課題曲 自由曲 初見演技
2 月 26 日 (火)		課題曲 A 課題曲 B 課題曲 C	音階 課題曲		口述試験	口述試験	口述試験	調弦 課題曲 自由曲	
	一 次 発 表								
2 月 27 日 (水)	楽典 聴音又は 新曲視唱	楽典 聴音	楽典 聴音又は新曲視唱	楽典 聴音	楽典	楽典 聴音又は 新曲視唱	楽典	楽典又は 初見視唱	
	副科ピアノ	初見視奏	副科ピアノ			音 楽 又 は 舞踊の実技	副科ピアノ	※小論文 ※口述試験	

注 1：この日程は予定であり、出願状況によって変わることがある。

注 2：※印は社会人入試のみ（但し、楽典は受験しない）

<推薦入試>

Ⅱ 推薦入試

1 試験科目一覧

試験科目 専攻・ コース名		専 攻 試 験 (第1次試験)				音楽に関する基礎能力検査 (第2次試験)							面 接
		実技 検査	コールユー ア・ンゲ・ン	初見 演技	小論文	楽典 (注2)	聴音	新曲 視唱	副 科 ピアノ	初見 視奏	音楽又 は舞踊 の実技	初見 視唱	
音 楽 表 現	声 楽	◎	◎			◎	○	○	◎				◎
	ピアノ	◎				◎	◎			◎			◎
	弦 楽	◎				◎	○	○	◎				◎
	管打楽	◎				◎	○	○	◎				◎
	作曲理論 (口述試験含む)	◎						◎	◎				◎
音 楽 文 化	沖縄文化				◎ (口述試験含む)	◎					◎		
	音楽学				◎ (口述試験含む)			◎	◎				
琉 球 芸 能	琉球古典 音楽 (調弦含む)	◎				◎							
	琉球舞踊 組踊	◎		◎		○						○	

注1. ◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目。○印は、出願時に、いずれか1つの科目を選択する。

注2. 沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、他専攻の楽典とは別問題とする。

2 出願方法

(1) 声楽コース志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。

ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(2) 弦楽および管打楽コース志願者は、次の楽器の中から1種類を選択し、出願すること。

(弦 楽 器) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽器) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット
テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器

(3) 琉球古典音楽コース志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。

歌三線、琉球箏曲

3 試験内容および試験曲等

《専攻試験》

(1) 音楽表現専攻声乐コース

一般入試に同じ

(2) 音楽表現専攻ピアノコース

一般入試の課題曲 A,B,C に同じ

(3) 音楽表現専攻弦楽コース

注意事項：すべて暗譜、無伴奏で演奏すること。記号による反復は行わない。
時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

◆ヴァイオリン

<音階>

一般入試に同じ

<課題曲>

任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章（カデンツァは除く。ただし、作曲者が曲中に著したものについては演奏すること。）

◆ヴィオラ

<音階>

一般入試に同じ

<課題曲>

任意のヴィオラ協奏曲より第1楽章（カデンツァを除く）

◆チェロ

<課題曲A>

一般入試に同じ

<課題曲B>

任意のチェロ協奏曲より第1楽章（カデンツァを除く）

◆コントラバス

<課題曲A>

一般入試に同じ

<課題曲B>

任意のコントラバス協奏曲より第1楽章（カデンツァを除く）

(4) 音楽表現専攻管打楽コース

一般入試に同じ

(5) 音楽表現専攻作曲理論コース

<作曲作品>

受験者自身の作曲作品の楽譜（演奏された録音媒体があれば添付する。）

※作品等は試験当日に持参すること。

<口述試験>

提出された作品をもとに質疑を行い、また音楽への意欲などを問う。

(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース

<小論文>

テーマ「現代の社会と音楽（舞踊）との関わりについて論じなさい」

原稿用紙（400字詰め）5枚程度とし、手書きであること。

※小論文は、出願書類と一緒に提出すること。

<口述試験>

小論文の内容等を問う。

提出した小論文のコピーを試験当日に持参すること。

(7) 音楽文化専攻音楽学コース

<小論文>

テーマ「現代の社会と音楽（舞踊）との関わりについて論じなさい」

原稿用紙（400字詰め）5枚程度とし、手書きであること。

※小論文は、出願書類と一緒に提出すること。

<口述試験>

小論文の内容等を問う。

提出した小論文のコピーを試験当日に持参すること。

(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース

一般入試に同じ

(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース

一般入試に同じ

《音楽に関する基礎能力検査》

(1) 楽典

筆記試験・・・音楽表現専攻（30 分）、沖縄文化コース、琉球芸能専攻（40 分）

(2) 聴音

一般入試に同じ

(3) 新曲視唱

一般入試に同じ

(4) 副科ピアノ

注意事項：暗譜で演奏すること。記号による反復は行わない。

時間の都合により演奏の中断を求めることがある。

下記①～③の中から 1 曲を選び演奏する。

① J.S.バッハ：インヴェンションまたはシンフォニアより任意の 1 曲

② ハイドン、モーツァルトまたはベートーヴェン：ピアノソナタより任意の 1 つの楽章
（ベートーヴェンを選択する場合は Op.101～111 は除く）ただし緩徐楽章は除く。

③ ツェルニー：30、40、50 番練習曲より任意の 1 曲

(5) 初見視奏

一般入試に同じ

(6) 音楽又は舞踊の実技

一般入試に同じ

(7) 初見視唱

一般入試に同じ

4 平成 31 年度推薦入学試験日程表

専攻・ コース 日程	音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
	声楽	ピアノ	弦楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球古典音楽	琉球舞踊組踊
平成 30 年 11 月 25 日 (日)	楽典 聴音又は 新曲視唱	楽典 聴音	楽典 聴音又は新曲視唱		副科ピアノ	楽典	副科ピアノ	調弦 課題曲 自由曲	課題曲 自由曲 初見演技
	課題曲 自由曲 コールユーソング	課題曲A 課題曲B 課題曲C	音階 課題曲	音階 課題曲	新曲視唱	音楽又は 舞踊の実技	新曲視唱	楽典	楽典又は 初見視唱
	副科ピアノ	初見視奏	副科ピアノ		口述試験				
	面接								

注：この日程は予定であり、出願状況によって変わることがある。

<入試問題例>

Ⅲ 入試問題例

《試験科目 目次》

* 一般入試

楽典（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）	・ ・ ・ ・ ・	22
楽典（琉球芸能専攻、音楽文化専攻沖縄文化コース）	・ ・ ・ ・ ・	23
聴音	・ ・ ・ ・ ・	24
新曲視唱	・ ・ ・ ・ ・	25
初見 視奏	・ ・ ・ ・ ・	26
作曲 実技	・ ・ ・ ・ ・	27
小論文（音楽文化専攻）	・ ・ ・ ・ ・	28
小論文（琉球芸能専攻社会人入試）	・ ・ ・ ・ ・	29

* 推薦入試

楽典（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）	・ ・ ・ ・ ・	32
楽典（琉球芸能専攻、音楽文化専攻沖縄文化コース）	・ ・ ・ ・ ・	33
聴音	・ ・ ・ ・ ・	34
新曲 視唱	・ ・ ・ ・ ・	35
初見視奏	・ ・ ・ ・ ・	26
	(一般入試を参照)	
初見視唱	・ ・ ・ ・ ・	36

科目名: 楽 典 専攻名・コース名: 音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース

1. 次の楽譜は、シューベルトの歌曲《白鳥の歌》より〈鳩の使い〉の中間部分です。

以下の設問に答えなさい。

The musical score is for Schubert's song "Die Schwanen-See" (The Swan Lake), specifically the middle section. It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The lyrics are in German. The score includes various musical notations such as notes, rests, and dynamic markings like *pp* (pianissimo) and *decresc.* (decrescendo). There are also some handwritten annotations in Japanese, such as "あ" and "え", and circled numbers 1, 2, 3, 4, and 5, which likely correspond to the questions in the exam.

1. あ～かの音程を答えなさい。
2. ①～⑤の和音の種類を下の欄から選び、例にならって回答しなさい。

a. 長三和音 b. 短三和音 c. 増三和音 d. 減三和音
e. 属七の和音 f. 減七の和音

3. 上記 2. の和音①～⑤の和声記号を例にならって答えなさい。
4. ア～エの部分の調と各調の下属和音を例にならって書きなさい。(調号を用いること)
5. この歌曲を Clarinet (*A 管) で演奏する場合、譜面 2 段目の歌唱部 5 小節分は、どの様に記譜されますか。正しく実音で演奏できるよう、調号を用いて書き直しなさい。

A musical staff in treble clef with a key signature of one sharp (F#). It contains a sequence of notes: C4 (quarter), D4 (quarter), E4 (quarter), F#4 (quarter), G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter), B4 (quarter), A4 (quarter), G4 (quarter), F#4 (quarter), E4 (quarter), D4 (quarter), C4 (quarter). This represents the vocal line from the 5th measure of the second system of the score.

*A 管で記譜音を演奏すると、実音は短 3 度下になります。

6. 譜面 4 段目の点線で囲まれた部分中 (a)～(d) に、休符を書き入れて譜面を完成させなさい。

II. 以下の音楽用語の意味を答えなさい。

agitato, comodo, risoluto, serioso, poco diminuendo,
moderato, amoroso, pizz., senza sordino, vivace

楽典 (琉球芸能専攻、音楽文化専攻沖縄文化コース)

I 次の楽譜は、スコット夫人作曲《アニー・ローリー》の旋律である。以下の問いに答えなさい。

Moderato

- (1) この曲は、何拍子か。次の中から選びなさい。
4 分の 3 拍子 8 分の 6 拍子 4 分の 2 拍子 4 分の 4 拍子
- (2) この曲の平行調は、何調か。次の中から選びなさい。
イ 短調 ハ 長調 ハ 短調 イ 長調 ホ 長調 ホ 短調
- (3) あ、い、う、え の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例にならって答えなさい。
- (4) か、き の記号の読みと意味を答えなさい。
- (5) この曲の さ の部分にふさわしい和音の組み合わせを次のコードネームの中から選び、記号で答えなさい。
ア C-F-C イ C-G-C ウ G-C-G エ E-D-Cm
- (6) この曲を $J=80$ の速度で演奏すると、全曲演奏するにはどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、所要時間を答えなさい。(速度の変化は無視すること)
- (7) この楽譜の 4 段目を全音高い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

II 次の問いに答えなさい。

- (1) 解答用紙の五線に、次の音階の上行形を、全音符で調号を使わずに書きなさい。
ア ホ短調の和声的短音階 イ ヘ長調

(2) 解答用紙の五線にト音記号を書き入れたうえで、次のコードネームで示した和音を全音符で書きなさい。

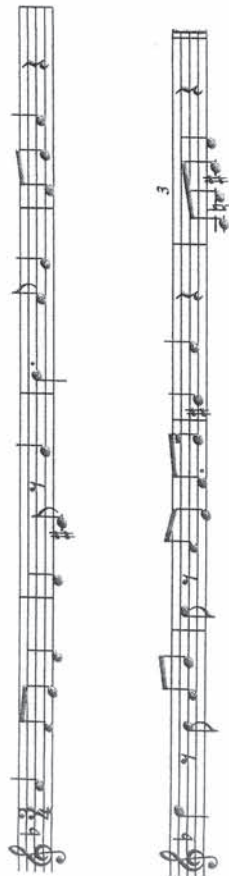
ア Cm イ G7

III 次の 9 つの問いの中から、5 つを選んで答えなさい。なお、選んだ問いの番号を解答用紙の () に書くこと。

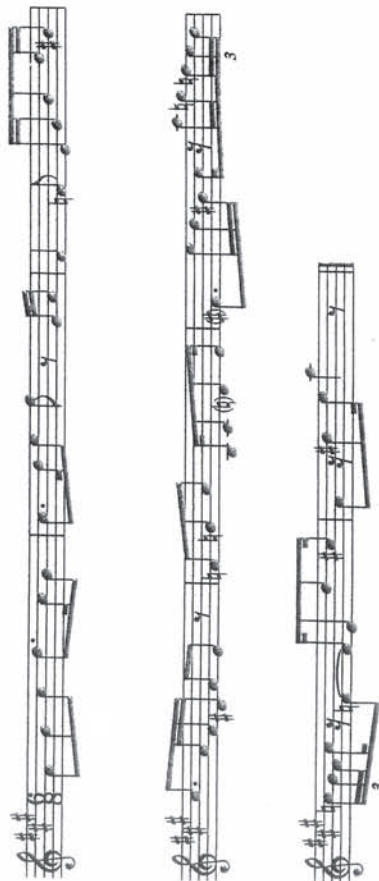
- (1) D.C. の読みと意味を書きなさい。
- (2) 4 分音符を 3 等分する 3 連符を書きなさい。
- (3) 次のオーケストラに使われる弦楽器を、音域の高い順に並べて答えなさい。
チェロ ヴァイオリン コントラバス ギタ ギョウキョウ
- (4) 音楽、絵画、小説などの作品を作った人が持っている権利を何と呼ぶか。次の中からふさわしいものを一つ選んで答えなさい。
音楽療法 知る権利 著作権 コンサートマスター 基本的人権
- (5) 次の中から、沖縄の郷土芸能を一つ選んで答えなさい。
長崎くんち 紙囃子 早稲穂神楽 エイサー 阿波踊り
- (6) 三線の二揚調子において、中絃を G (ト音) とすると、女絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。
- (7) 琉球事曲の本調子において、五の絃と六の絃の音程は何度か。I (3) の例にならって答えなさい。
- (8) 沖縄の伝統芸能・組踊の演目名を一つ答えなさい。
- (9) 《かぎやで風節》の歌詞を書きなさい。解答欄に書ききれない場合は、余白に書くこと。

科目名： 聴 音 専攻・コース名：音楽表現専攻、音楽学コース

単旋律 d-moll 4分の3拍子 8小節



単旋律 A-dur 8分の6拍子 8小節



四声体和声 G-dur 4分の2拍子 8小節



聴音の実施方法

1. 旋律 d-moll 4分の3拍子 8小節

実施方法

開始前に①主和音を弾き②1小節分の拍子をとる。

通奏1回

前半3回

通奏1回

後半3回

通奏1回

2. 旋律 A-dur 8分の6拍子 8小節

実施方法

開始前に①主和音を弾き②1小節分の拍子をとる。

通奏1回

前半3回

通奏1回

後半3回

通奏1回

3. 四声体和声 G-dur 4分の2拍子 8小節

実施方法

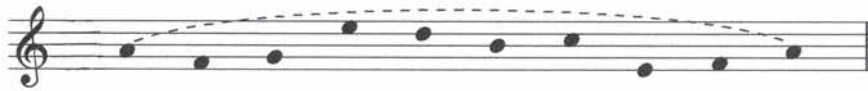
開始前に①主和音を弾き②1小節分の拍子をとる。

通奏7回

科目名： 新曲視唱

専攻・コース名： 声楽・弦楽・管打楽・音楽学コース

1. 次のフレーズを**音程を付けずに一息で**素早く読みなさい。



2. 次の旋律の**調の主和音**と**曲の開始音**をピアノで弾いてから予見しなさい。（制限時間：1分30秒）

3. 予見し終わったら、再び**主和音**と**曲の開始音**をピアノで弾き確かめてから歌いなさい。

alla barcarole ♩. = 40 ca.

科目名： 初見視奏

専攻名・コース名：ピアノコース

予見時間：4分

Tempo di barcarole ♩ = 46~52

Musical score for measures 1-4 of 'Tempo di barcarole'. The key signature has one sharp (F#). The tempo is marked 'Tempo di barcarole' with a quarter note equal to 46-52 beats per minute. The score is in 4/4 time. Measure 1 starts with a piano (p) dynamic and a 'legatissimo' marking. The melody is in the right hand, and the bass line is in the left hand.

Musical score for measures 5-8 of 'Tempo di barcarole'. The key signature has one sharp (F#). The tempo is marked 'Tempo di barcarole' with a quarter note equal to 46-52 beats per minute. The score is in 4/4 time. Measure 5 starts with a mezzo-forte (mf) dynamic. The melody continues in the right hand, and the bass line is in the left hand.

Musical score for measures 9-12 of 'Tempo di barcarole'. The key signature has one sharp (F#). The tempo is marked 'Tempo di barcarole' with a quarter note equal to 46-52 beats per minute. The score is in 4/4 time. Measure 9 starts with a piano (p) dynamic. The melody continues in the right hand, and the bass line is in the left hand.

Musical score for measures 13-16 of 'Tempo di barcarole'. The key signature has one sharp (F#). The tempo is marked 'Tempo di barcarole' with a quarter note equal to 46-52 beats per minute. The score is in 4/4 time. Measure 13 starts with a mezzo-forte (mf) dynamic. The melody continues in the right hand, and the bass line is in the left hand.

poco rit. ----- a tempo

Musical score for measures 17-19 of 'Tempo di barcarole'. The key signature has one sharp (F#). The tempo is marked 'Tempo di barcarole' with a quarter note equal to 46-52 beats per minute. The score is in 4/4 time. Measure 17 starts with a mezzo-forte (mf) dynamic. The melody continues in the right hand, and the bass line is in the left hand.

molto rit. -----

Musical score for measures 20-22 of 'Tempo di barcarole'. The key signature has one sharp (F#). The tempo is marked 'Tempo di barcarole' with a quarter note equal to 46-52 beats per minute. The score is in 4/4 time. Measure 20 starts with a forte (f) dynamic. The melody continues in the right hand, and the bass line is in the left hand.

a tempo

Musical score for measures 23-26 of 'Tempo di barcarole'. The key signature has one sharp (F#). The tempo is marked 'Tempo di barcarole' with a quarter note equal to 46-52 beats per minute. The score is in 4/4 time. Measure 23 starts with a piano (p) dynamic. The melody continues in the right hand, and the bass line is in the left hand.

poco ----- accel. -----

Musical score for measures 27-30 of 'Tempo di barcarole'. The key signature has one sharp (F#). The tempo is marked 'Tempo di barcarole' with a quarter note equal to 46-52 beats per minute. The score is in 4/4 time. Measure 27 starts with a mezzo-forte (mf) dynamic. The melody continues in the right hand, and the bass line is in the left hand.

molto rit. ----- Tempo I

Musical score for measures 31-34 of 'Tempo di barcarole'. The key signature has one sharp (F#). The tempo is marked 'Tempo di barcarole' with a quarter note equal to 46-52 beats per minute. The score is in 4/4 time. Measure 31 starts with a forte (f) dynamic. The melody continues in the right hand, and the bass line is in the left hand.

平成30年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般入学試験

科目名：作曲実技

専攻・コース名：作曲理論コース

次のソプラノ課題、バス課題を四声体で実施しなさい。なお、和声記号も書くこと。

(試験時間：2時間)

Moderato



Maestoso



平成三〇年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般入学試験

科目名： 小論文 専攻名・コース名： 音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース

「ひろばがあればなあ、どここの村にもひろばがあればなあ」——第三章の始めの部分で、著者は、井上ひさしの戯曲『オーベトーボの劇列車』の台詞を紹介している。

私たちの社会の中で、「広場」とは何か。課題図書から具体的な箇所を引用して説明し、音楽や芸能が社会で果たせる役割について、あなたの考えを一〇〇〇字程度で述べなさい。

課題図書 平田オリザ『新しい広場をつくる——市民芸術概論綱要』 岩波書店

二〇一六年度入学試験問題(社会人選抜) 小論文

問題

資料文は大城立裕「沖縄と演劇―その伝統と変革―」(『沖縄演劇の魅力』沖縄タイムス社、一九九〇年、初出は一九七一年)の第3項、第4項である。資料文を読んで、次の各問に答えなさい。

問 1

傍線部分「古典の創造的あるいは発展的継承」について、わかりやすく言い直した部分がある。本文の中から四十文字以内で抜き出して、解答欄に書きなさい。

問 2

「古典の創造的あるいは発展的継承」に関する著者の主張について、本文の一部を引用しながら、それに対するあなたの意見をみずからの経験をふまえて千二百字程度で論じなさい。

資料文

3

数年前に沖縄歌劇が国立劇場で上演されたとき、戸部銀造という劇評家がこれを酷評して書いた――「通俗きわまる。浅草のテノ助芝居とかわらない。言葉がわからないから皆おもしろがつているが、言葉がわかったら、愛想をつかすことであらう」(原典『テアトロ誌』が手元にないで、表現はこの通りでないことを、おゆるしねがいたい)と。この発言にたいして私が根本的に疑問を感じるのは、「言葉がわかたらというが、いったい東京人が沖縄の言葉をわかるとはどういうことか」ということである。翻訳を聞いてわかる範囲のイメージを突きぬけたところに、じつは私のいう沖縄センチメントはあるのであって、どのような通俗観念にもとづくセリフでも、私たちの胸にしんとひびいてくるものがある(この国語でもそうであらう)。

むしろ、戸部がいつていることもわからないではないのであって、彼が理解し、否定したがっている範囲のイメージについては、その非文学性をどうにかならないか、と私たちも常に考えてはいるし、この愛着と批判の両極をたえずゆれ動いているのが、私たち沖縄芝居をまじめに考える知識人のところである。

ただ、かの国立劇場で上演した歌劇が満足すべき出来来えであつたかどうか、別にあたらしく問題は展開する。というのは、私はあれを見てないのだが、その上演を録音したらしいレコードを買い求めて、テキストを見ながら聞いていると、重大なことを発見したのである。歌詞がテキストと舞台とたいへんに違ふところが多い。沖縄芝居にはいわゆる口立芝居が多いので、その悪い影響であらうと思うが、どれがオリジナルな歌詞なのかわからなくなっており、芸にたいする意識がきわめて低いことを思わせるものがある。国立劇場での出来来えがどうであつたかにかかわらず、琉球歌劇の将来にはたして色あせぬ光栄が保てるものであるかどうか、問題にしてもよい。

1

古典音楽、古典舞踊、古典劇の分野では、型がきびしく意識されている。ここでは劇に話題をしぼるが、寅の御冠船（一八六六年、尚泰王冊封のとき）のときのパターンが継承されている、といわれる。具体的には、御冠船役者であつた小椋按司、読谷山親雲上などというひとたちが玉城盛重、渡嘉敷守良などという明治役者たちに伝授したものが、それだということになる。しかし、いつのまにか細部の演技に差がでており、今日生存中の長老幾人かの芸のどれが正統であるかの論議が生じる所以である。たとえば玉城朝薫作五番中の『二童敵討』のなかの有名な、阿麻和利の七目付あまわりの演技で、前につぎだしてふまえた足の爪先は地についているのか天をさしているのか、という議論がある。舞踊にもこのような型の不斉ふせいが問題になり、官僚的に統制するわけにもいかず、ひところはコンクールの審査の便宜上これを新聞社で芸能人の協力をえて統一しようという努力もなされたが、結局はものにならず、それぞれの流儀を固守するということが、つまりは家元制のようなものをつくることになった。もともと家元制のなかった琉球芸能に、こうして最近家元制ができた。

これが芸能そのものの発展のためにどのような意味をもつか。私の意見を結論的にいってしまえば、芸の発展とは何の関係もないと思う。型の固守がこれによつて約束されたともいえまいし、創造を促進するともいえまい。型の形骸におけるセクシヨナリズムにすぎないだろうし、その将来は、御冠船というひとつの流れから今日まで岐れてきた系統発生ねんのようなものを、さらに多分岐でくりかえすだけであろう。

そしてどれが生き残るか。どの型がうつづがれるのか。単純な論理ながら、沖縄のこころを最もよく表現し、どの時代にもうけいられるものが残る、ということなのであろう。

4

今日、沖縄の芸能は第三の変革期にさしかかっている、とみることができよう。第一のそれは、十八世紀王朝に古典のパターンが創造されたとき、第二のそれは、明治にそれが庶民の前におりてきたとき、第三のいまは、いわゆる現代的な国際交流がしげくなって、人間性にメカニズムや情報化のある変革がなされようとし、それに応じて新しい詩や音楽や絵が生まれつつある時代である。このような時代に、芸能の世界においても、なんらかの創作がおこなわれることは、じゅうぶんに必然性のあることである。

実際に、沖縄芸能の世界でいくつかのアレンジメントや創作がなされた。そのなかのどれが、あるいはいくつが、あたらしい古典として残っていくか、が今日のひとつの問題である。一方では、創作しないではおれない衝動をもち、一方では型をくずすまいという古典意識をもつ。この二つは、本来は矛盾しないはずのものであるにかかわらず、実際に一人の芸術家が彼自身の生の営みとして芸を生むとき、みずから両者の選択に迷う、あるいはどれかにこだわりすぎる場合が多い。享受するがわとしては、あるときは「また古典か」といいながらも、別の機会に軽率な創作に出会ったときは「やはり古典はよい」とふりかえることじ

もなる。

本来芸術家としての素質をもって生まれたひとであるならば、旧来の型をぬけて創作したい意欲にかられるはずである。が、年ふりて完成度の高い古典作品をこえることが難しいのである。ある舞踊家が、かつてそのさかんな試みがあつたにもかかわらず、ほとんど落伍して、その創作らしいものはすでに消えた。そしていま、ほとんどの舞踊家が、古典の枠にとじこもっている。はみだすのが怖いであろう、と私はみている。一步はみだしたら、茫洋とした大海へ冒険に出るようなものであるからだ。古典にしがみついております、その完成度にささえられて安全、ということがある。ただ、古典の枠にとじこもっている、型の形骸のなかで腐ってしまうということがある。私たちは、今日の沖縄芸能に、それをおそれているのだ。

歌劇の崩れについて、さきに書いたが、あの崩れが創作に類して意識的なアレンジメントであるならば、それは時をくぐったのちの享受者によって、正当に評価されるであろう。しかし、いまのところ、このような崩れは、御冠船の伝統におけるきびしい型の規範がないところからくる、近代的怠慢にぞくする傾きがつよい。これは似而非発展である。

古典の創造的あるいは発展的継承とは、どのようなことであるのか。たびたび設問されることであるが、具体的にこたえることはきわめて難しい。私はここに、ひとつの答えを試みたい。これは譬え話のかたちをとる。

最近、家兄が小さなビジネス・ホテルをつくることになって、その家号を考えろ、という。「沖縄的な名前を考えろ」という。私はひとりの頭のなかでアレーン・ストリーミングを試みて、でいご、あだん、紅型、緋、守礼、みやらび、エトセトラと、メモしてみた。が、どれをみても酒場のイメージしかうかんでこないのである。そして、これらの言葉の本来の清楚なイメージをよびおこそうとつとめると、那覇のとまんなかのこみつほいエネルギーシエなビジネス・ホテルにはふさわしくなくなるのである。兄が業をにやして言った――「沖縄的にこたわらなくていいよ。私はいくらか気がらくになりながら、それでもできることなら、と構えているうちに、ふと浮かんだのが、「白光荘」という名前であつた。」白光のイメージは、考えてみると、私がよく小説のなかにつかうもので、沖縄の風景描写において、私にとって欠かせないものになっている。そして、このなかには、なんとなく茫洋とした沖縄的人間のセンチメントもはいつているように思う。しかも、既成の伝統パターンにはまだないのである。

結局「白光荘」にきまつた――という話は、ここではどうでもよいことであつて、ここで私がいいたいのは、伝統に乗りながら既成のパターンのなかで腐らないようにするためのアクションとは、どのようなものが、ということである。がもうひとつ言わねばならない。この、白光のイメージを、「伝統的にして新しい」と私は我田引水で規定したが、これははたして他人にみとめてもらえるものであるか、また後世にもみとめてもらえるものであるか、まだ評価は完成していない、ということである。思えば、きわめてエネルギーシエで孤独なもの――それが、伝統の創造的継承ということなのであろう。

楽典

平成30年度沖縄県立芸術大学音楽学部 推薦入学試験

I 1. ①～⑧に与えられた各音の上方に、指定した音程の音を全音符を用いて書きなさい。

例

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
長3度	長7度	短3度	増2度	短6度	増1度	完全5度	増4度	減4度

楽典 (琉球芸能専攻、音楽文化専攻沖縄文化コース)

I 次の楽譜は、ロジャーズ作曲《エーデルワイス》の旋律である。以下の問いに答えなさい。

- (1) この曲は、何拍子か。次の中から選びなさい。
4 分の 4 拍子 8 分の 6 拍子 4 分の 3 拍子 2 分の 3 拍子 8 分の 9 拍子
- (2) この曲は何調か。また、この曲の調の平行調は何調か。次の中から選びなさい。
ホ長調 イ短調 ハ長調 ハ短調 ト長調
- (3) あ、い、う、え の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例にならって答えなさい。
- (4) か、き の記号の読みと意味を答えなさい。
- (5) この曲の さ の部分にふさわしい和音の組み合わせを次のコードネームの中から選び、記号で答えなさい。
ア A-D-G-C イ F-G-C-C ウ A-D-B-G エ F-D-G-G

(6) この曲を $J=120$ の速度で演奏すると、全曲演奏するにはどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、所要時間を答えなさい。(演奏上の速度の変化は無視すること)

(7) この楽譜の 25 小節目から最後までを全音低い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

II 次の問いに答えなさい。

(1) 解答用紙の五線に、次の音階の上行形を、全音符で調号を使わずに書きなさい。

ア 変ホ長調 イ ロ短調 (和声的短音階)

(2) 次のコードネームで示した和音の中から、ト長調の主要三和音に当たる和音を選んでコードネームを書いたうえで、解答用紙の五線に全音符で臨時記号を使って書きなさい。その際、ト音記号を書き入れること。

A Bm C D Em F G

III 次の 9 つの問いの中から、5 つを選んで答えなさい。なお、選んだ問いの番号を解答用紙の () に書くこと。

(1) *dim.* を省略せずにアルファベットで書き、読みと意味を答えなさい。

(2) 次の中から、2 分音符の長さに等しい音符の組み合わせを選び、記号で答えなさい。

ア 4 分音符+8 分音符 イ 16 分音符+付点 4 分音符

ウ 付点 4 分音符+8 分音符 エ 8 分音符+付点 8 分音符

(3) 和声的短音階以外の二種類の短音階の名称を書きなさい。

(4) 次の中から、作曲家の名前を一つ選んで答えなさい。

セザンヌ ボレロ ショパン バロック ソナタ

(5) 次の中から、沖縄や日本の音楽や芸能ではないものを一つ選んで答えなさい。

谷茶前 歌舞伎 組踊 安来節 協奏曲

(6) 三線の本調子において、男絃を B $\flat$ (変ロ音) とすると、中絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。

(7) 琉球舞曲の本調子において、五の絃と十の絃の音程は何度か。I (3) の例にならって答えなさい。

(8) 《干櫓節》《七尺節》を含む楽曲で構成される舞踊の演目名を答えなさい。

(9) 《かきやで風節》の歌詞を書きなさい。解答欄に書ききれない場合は、余白に書くこと。

聴音

旋律 g-moll 4分の4拍子 8小節



旋律 D-dur 8分の6拍子 8小節



四声体和声 d-moll 4分の2拍子 8小節



聴音

① 旋律 g-moll 4分の4拍子 8小節

実施方法

主和音と拍子

通奏1回

前半3回

通奏1回

後半3回

通奏1回

② 旋律 D-dur 8分の6拍子 8小節

実施方法

主和音と拍子

通奏1回

前半3回

通奏1回

後半3回

通奏1回

③ 四声体和声 d-moll 4分の2拍子 8小節

実施方法

主和音と拍子

通奏7回

新曲視唱

- ①次の曲の調の主和音をピアノで弾き予見しなさい。(予見時間は1分30秒)
- ②予見が終わったら、主和音を弾いてから、この曲の和声短音階を歌いなさい。
- ③ピアノで主和音を確かめた後、開始音を弾いてから歌い始めなさい。

alla Siciliana (♩ = 120)

mp

f

rit. ----- molto -----

Ritenuto *a tempo*

meno f *sub.f* *p*

3

初見視唱（琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース）

組踊「執心鐘入」

若松詞

露でやんす花に
宿かゆる浮世、
慈悲よ御情に
からちたばうれ。

女詞

親の留守なかに
宿からち置て、
与所知れてわぬや
憂名立ちゆめ。

若松詞

悪縁や袖に
むすばはんぼからひ、
わ身や首里みやだいいり
やてど行きゆる。

小僧（一）詞

尋ねゆる里や
夢やちやうも見だぬ。
急ぢ立戻れ。
女わらべ。

出典『校註 琉球戯曲集』（復刻版）伊波普猷 一九九二年 榕樹社

※一部、異体字を改めた。

平成 31 年度

試 験 曲

音楽学部個別学力検査等

平成 30 年 7 月 発行



沖縄県立芸術大学

〒903-8602

沖縄県那覇市首里当蔵町 1 丁目 4 番地

電話 098-882-5058 (教務学生課)

<http://www.okigei.ac.jp>

JASRAC 出 1806879-801

教育出版「中音 1 年 平成 24 年版」